

# Introduction

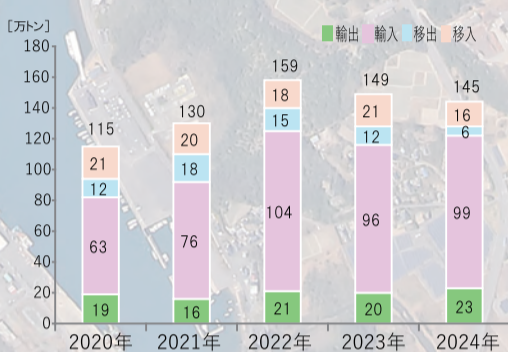
## 川内港



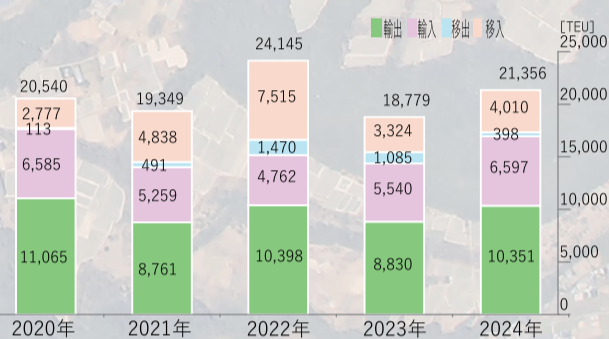
川内港は鹿児島県の北西部に位置し、東シナ海に面した北薩地域の海上物流の拠点となっています。港周辺にはエネルギー関連企業が、また港湾背後の内陸部には製紙工場や電子部品工業等が立地しており、紙・パルプの原料及び製品や原木等のバルク貨物やコンテナ貨物を取り扱う物流拠点として重要な役割を果たしています。

[R8.3月撮影]

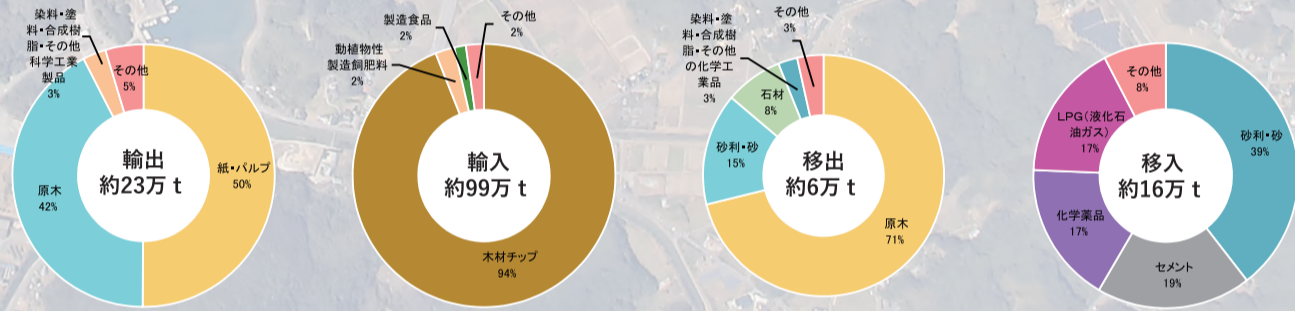
### 取扱貨物量の推移



### コンテナ取扱量の推移



### 取扱貨物の内訳(2024年)



資料) 港湾統計(年報)「国土交通省」

## 唐浜地区 国際物流ターミナル整備事業

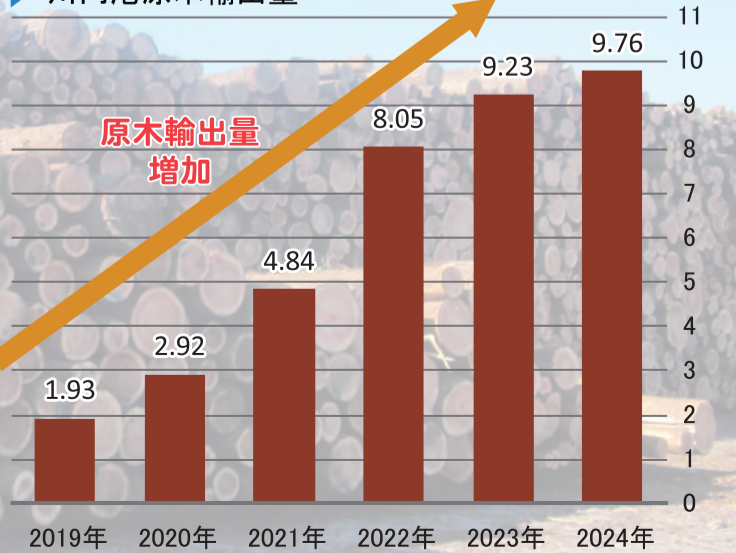


## 北薩地域の木材輸出拠点

我が国の林産品輸出は増加傾向にあり、川内港も同様に輸出が増加しています。現在、川内港で原木輸出に使用されている原木運搬船は岸壁水深の関係から入港に制約があります。

唐浜地区に新たな岸壁等を整備することで、林産品の輸出増加等に伴う船舶の大型化に対応し、効率的な海上輸送及び地域林業の国際競争力強化に寄与することが期待されています。

### 川内港原木輸出量



資料) 港湾統計(年報)「国土交通省」

8万トンの木材を木造住宅に例えると、床面積 150 m<sup>2</sup>の場合で約 7000 戸分の木材の量になります。

(木造住宅の床面積 1m<sup>2</sup>当りの木材使用量を 0.2 m<sup>3</sup>、杉材の比重を 0.38 とした場合)